

教育理念	学ぶ楽しさを知り、自ら学ぶ力と豊かな人間性を身につける
目標(テーマ)	・基礎学力を再生して(学力回復教育)高校を卒業 ・学ぶ楽しさを体験する科学的授業で、生涯を学び人に ・目覚めよ！自分力。早期にやりたいことにチャレンジ ・目標の実現をサポートする教育システムの提供

※評価基準…A:達成できている B:どちらかと言えば達成できている。 C:どちらかと言えば不十分である。 D:不十分である。

分類	評価の観点	評価項目	具体的な評価項目	評価	評価の観点と理由	改善方針
学校運営	教育課程	学習指導要領の対応状況	教育課程は学習指導要領に沿っており、その編成・実施の考え方について、教職員間で共有ができています。	A	・教育課程の構成、実施の考え方について、概ね理解している。生徒の興味、意欲、関心を高められる授業を、より実践していく必要がある。	・学力差が大きいのが現状であることから、リクルートマーケティングパートナーズの提供している「スタディサプリ」を導入し、アダプティブラーニングを実現できる環境を整えているが、生徒個々の学習状況に対し、的確な支援、サポート体制を構築していく。
		教育目標	生徒の学力・体調面など、個々の状況に応じた支援・指導を行っている。	B	・基礎学力が不足している生徒への個別での対応を充実していくとともにレポートの学習意欲、理解度が課題である。	・自校教員によるレポート動画についてもオリジナルティを出すためにも増やしていく。
	教職員連携	組織運営	本部及び本校の校務分掌や主任体制などが適切に機能するなど、学校の運営・責任体制が整備されている。	A		
		教員・教科間連携状況	教職員間の相互理解がなされ、共有及び信頼関係が構築され、教育活動が行われている。	A	・組織運営や校務分掌、各主任及び主事体制が適切に運用され、新任教職員に対しての校内研修を実施している。	・教員間、事務職員間及び豊田駅前キャンパス職員間との連携、情報共有のため、引き続き、職員会議やスクーリング会議を更に効率良く、質の高いものにしていく。
		教員と事務職員の連携状況	教員と事務職員の情報交換の機会があり、相互理解及び連携がとれている。	A	・本校、豊田駅前キャンパスとの教職員間による相互理解に基づいた教育活動が行われている。	・各部門会議も定期的に実施しているとともに、各主任、主事が必要に応じて自発的に会議を開催する体制づくりを行っている。
		会議の有効性	職員会議・スクーリング会議などの共通認識・共通理解のもと、有効かつ効率的に機能している。	A	・定期的な職員会議や部門会議(進路・生徒指導、事務職会議等)を開催し、情報共有、意見交換の場面設定が行われている。	
	財務関係	学校経営の安定性	経営・財務が安定し、十分な教育活動を行うことができる。	B	当校単体、グループ校合計ともに、業務の効率化、経費の削減により単年度黒字経営であった。	引き続き、生徒が取り組みやすい教育コンテンツの開発や部活動の促進等、教育活動全般において投資を進めていく。
		財務に関する意識	経営指標と財務状況について理解している。	B	学校運営責任者による財務状況の説明を職員に行っている。	定期的に、管理部門責任者による説明会の機会を設け、理解を促す体制を作っていく。
		財務状況の把握	予算・決算の収支状況に関して理解している。	C	予算、決算の収支状況については、職員会議や個別面談にて事務長より伝達を行っている。	
	危機管理	役割分担	事故・事件・災害などに対する連携及び役割分担が明確になっている。	B	・関係各所(警察・消防・学校医など)の連携はとれている。また事故、事件、災害時の校内体制も整っている。	・危機管理意識を高めるために半期に1度、全体研修を実施する。
		安全管理	学校内の安全点検管理及び諸活動が実施されている。	B	・方が一の災害等に備え、教職員だけでなく、生徒も参加した避難訓練を計画し、実践していく必要がある。	・避難訓練を学校安全計画に位置付け、生徒が体験的に理解できるよう計画的に実践し、方が一の災害等に備える。
		危機管理対応状況	危機管理マニュアルに基づき、市役所、警察、消防と連携するなど、安全対策がとれている。	A	・個人情報管理については、プライバシーの確保を維持しており、研修を行っている。	
		個人情報管理	生徒情報管理が適切に行われている。	A	引き続き情報漏洩防止の為、職員に危機意識を高めるアクションを行っていききたい。	
	施設・設備	施設・設備の状況	教育活動に必要な設備・備品を整えている。	A	学習に必要な備品は概ね揃っている。在籍生徒の帰属意識や満足度を高めるために、野外活動費や部活動費への投資を積極的に行った。	生徒の満足度だけでなく、道徳教育(社会貢献等)にも力を入れ、必要に応じた投資をするよう努める。
	渉外	生徒募集	学校説明会の実施や学校案内パンフレットなど、効率的な広報に工夫・充実させる。	B	・広報担当者を主とした県内中学校や高校への訪問を行い認知度の拡大を図った。また、定期的な学校説明会はもちろんのこと、入学を検討している生徒と保護者に当校の授業に参加して頂くイベント(バスツアー)も開催した。	東海地区(三重、岐阜、静岡)での認知度の拡大を図るのが大きな課題である。学校訪問を積極的に行い、顧客のニーズに合わせたイベント等を開催するなど、認知を広げていきたい。
各教育機関との連携		中学校、高等学校、適応指導教室などの市町村教育機関への訪問や外部等と連携した広報活動をしていく。	B	・豊田市内及び愛知県からの入学者が増え、特に中3生の入学者数が過去最高となった。		
教育内容・支援	面接指導・添削指導等	スクーリング参加状況	年間スクーリング日程計画に基づいた参加促進を行う。	A	メディア学習の内容が一部変更(スタディサプリの導入)となったが、昨年同様のレポート提出率であった。メディアを含むレポート内容は、生徒個々の学力に応じた対応となっているが、更なる学習の定着や学力の向上を図らなくてはならない。	メディア学習の内容を更に生徒個々の学力向上や興味・意欲・関心度が高くなる内容にしていく必要がある。
		スクーリング内容(面接授業)	各科目担当者が創意工夫を行い、生徒の興味・関心・意欲が高められる授業を展開していく。	A		
		レポート内容・添削	レポートが学習成果(興味・意欲・関心)につながる内容になっている。また、インターネットを活用した添削結果の遅延がないよう、計画的な業務を行っている。	B	・スクーリングの授業内容については、学ぶ楽しさ、発見する喜びを知ってもらうことを意識した面接授業を行っている。	
	情報発信	ネット回線の有効活用	本校独自でネット開設している「マイページ(通称)」にて、タイムリーな情報提供を行っている。	A	・学校独自のネット開設(通称:マイページ)により、学校イベントなどの情報提供を行っている。また、学校行事の様子を発信する体制をさらに強化した。	学校独自のネット開設(通称:マイページ)だけでなく、ブログ等のSNSを活用し、紙ベースと合わせて、学校の雰囲気やわかるツールを活用し、ネットから閲覧できるよう工夫をしていく。
		個人に対する効果的な情報提供	本校独自でネット開設している「マイページ(通称)」にて、生徒個々の学習進捗が確認できる。	B	・保護者向け情報提供ツールとして、保護者用にもマイページを開設しているが、一定の保護者のみが閲覧している状況。閲覧頻度を高める工夫が課題である。	
	情報教育	情報能力知識	各種活用能力の知識を向上させる。	A	学習ツールとしてタブレットを導入しており、情報機器、情報収集についての知識は身につけている。また、情報の対面授業では、SNS活用や携帯ゲームの危険性に関して重点をおきながら取り組んでいる。	SNSから発展する事故や事件の可能性が高まっているため、引き続きトラブルの事例をマイページに掲載するなど、知識を更に高める必要がある。
情報モラル指導		情報発信・公開に伴う責任など情報モラルの教育に取り組む。	B			
生徒・進路・保健指導	生徒指導	指導方針の一貫性	指導方針に従い、生徒及び保護者の満足度(進級卒業・進路決定など)を高める。	B	・課題であったスクーリング以外での生徒フォローを、レポート会(支援)を実施することにより成果を上げた。また、豊田駅前キャンパスを活用し、二者面談、三者面談を実施することができた。	定期的に主要都市でレポート会(支援)を行う等、教員と生徒が対面式でコミュニケーションを取ることができる環境を整えていく。また、保護者を含めた三者面談の設定を計画的に実施していく。
		生活指導について	学校組織に基づき、生徒が安全に諸活動ができるよう共通認識にて運営していく。	A		
		家庭との連携状況	計画的かつタイムリーな連携をとり、充実した学校生活が送れるよう支援していく。	B	・希望進路実現へ向け、外部との連携を図りつつ、組織的な体制づくりが課題である。	
	進路指導	キャリア教育について	キャリア教育(進路指導)に取り組む体制が整備され、生徒の自立に向けた取り組みが実践されている。	A	進路指導主事を中心に、希望進路実現(進学・就職)に向け、定期的に面談を行い、早い段階で方向性を固めて動くよう努めている。また就職についても、各地のハローワークとの連携を更に強化し、職業相談、面接練習等、就職に向けた活動を実施している。	進路意識が高められるよう教職員のスキルアップを図るとともに、外部との関係性を更に向上し、生徒の希望進路実現に向け取り組んでいく。
保健指導	健康の保持増進について	心身ともに健康であるための支援(定期連絡やスクーリング時における授業にて支援)	B	スクーリング時の特別活動にて、「健康」をテーマとした学習を実施している。特に生活習慣に重点をおき、生徒が健康で規則正しい生活が送れるよう取り組んでいる。	健康教育を充実し、生命の尊重・いじめの防止・健康に対して意識が高められるようなテーマを掲げ取り組んでいく。	
その他	教職員研修	教職員の資質向上を図るため、計画的な研修を実施していく	A	グループ全体の研修を実施した。各部門(教科、校務分掌、事務等)も開催し、各校での課題や課題解決に向けた内容で実施した。	外部主催の研修へ積極的に参加し、教職員一人一人のスキルアップが向上できる体制を整えていく。	
	学校関係者評価	計画的に実施し、教育の質の向上や学校運営の改善に向け、計画的、継続的に取り組み、開かれた学校づくりを進めていく。	B	年3回、学校関係者評価を実施し、次年度に向けた改善や準備を行うことができた。	運営方法を改善し、更なる質の高い運営を目指していくとともに、開かれた学校づくりを行っていく。	
	地域との連携	地域行事への参加、経済的貢献	B	・自治区への委託や地区行事の会場として提供。経済的貢献では、地元業者や施設を積極的に活用した。・文化祭を実施し、中学生や地元の方にも多数来校して頂き、過去最高の来校者数であった。	地域との交流がまだまだ少ないのが実態である。地域の方に対するボランティア活動、イベント開催等、地域と一体となった活動を模索していく。	

校長	教頭	事務長
		